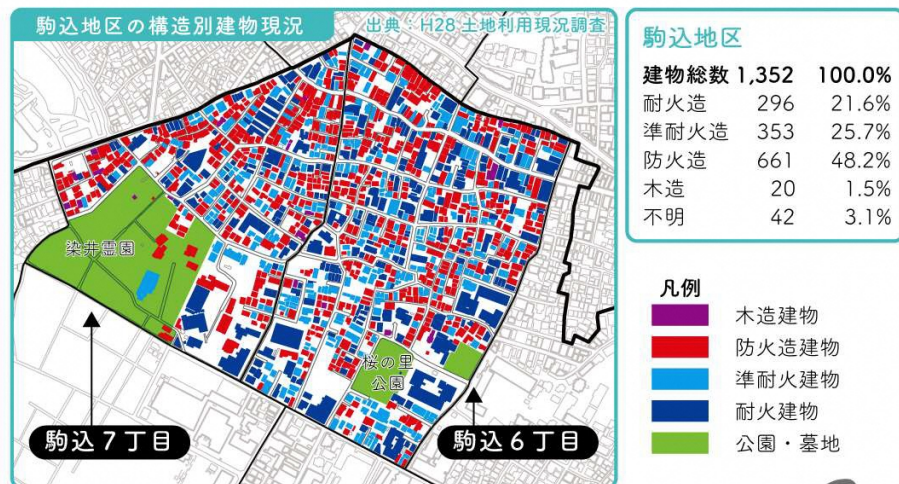


3 駒込地区の建物現況

地震が起こると、地震の揺れで発生した火災の延焼により、広い地域で被害を受ける危険性があります。（危険性の度合いを測定したものが2・3ページの「火災危険度」です）

耐火性が低い防火造建物や木造建物などが密集している地域では危険性が高くなります。

駒込地区の構造別建物現況を見ると、下図のように防火造・木造の建物が約5割ほどあるため、火災による延焼の危険性があると考えられます。



上記の建物現況は平成28年時点のものです。最新の調査結果が公表され次第、皆様にお知らせしてまいります。

駒込地区のまちづくりについて興味や関心をお持ちの方は、会へのご参加をお待ちしております。

ご参加を希望される方は、豊島区都市整備部地域まちづくり課までご連絡ください。



●事務局●



TOSHIMA CITY

豊島区 都市整備部 地域まちづくり課 沿道推進グループ
 TEL：03-3981-3449 FAX：03-3980-5135
 メール：A0050025@city.toshima.lg.jp

株式会社 双葉
 TEL：03-3953-3265 FAX：03-3953-5071

駒込地区防災まちづくりニュース

令和5年2月発行 TOSHIMA CITY

1 駒込地区の防災まちづくりの再開に向けてアンケートを行いました

駒込地区防災まちづくりの再開について

令和2年2月から新型コロナウイルス感染症拡大により、見合わせておりました「駒込地区防災まちづくりの会（以下、本会）」の発足ですが、開催時期や方法について慎重に検討を進めています。

今年度は、本会の会員の皆さまを対象に、防災まちづくりの会を非対面での開催を含め、どのように行うかアンケートを実施いたしました。

アンケートの結果は、以下に記載の通り書面やWeb配信等の非対面式ではなく、対面での開催を希望する会員が多いため、事務局では引き続き、対面での会の開催時期等を検討してまいります。

●防災まちづくりの会開催に向けたアンケート

アンケートは会員23名中16名の回答があり、回収率は69.6%となりました。

- ① 資料の郵送やアンケートによる書面方式の開催を実施する 31.3%
- ② Web配信を活用した会議形式による非対面での開催を実施する 6.3%
- ③ コロナ禍が終息した後、従来通りの対面開催を実施する 50.0%
- ④ その他 12.5%



防災まちづくりの会の開催を目標に今後も検討を続けてまいります。

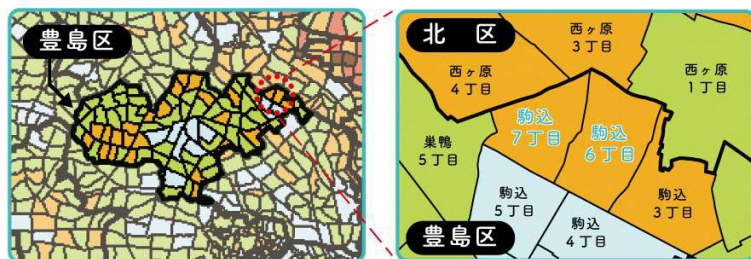
2 地震に関する地域危険度

前回のニュースでは、東京都が公表している地震に関する地域危険度測定調査（第8回）から駒込地区における「建物倒壊危険度」「火災危険度」「総合危険度」を紹介しましたが、令和4年9月に第9回の調査結果が公表されましたので、あらためてお知らせいたします。

駒込地区の地域危険度（測定調査第9回）

駒込地区は、地震に関する地域危険度測定調査（第9回）において、図表のように危険度（建物倒壊危険度、火災危険度、総合危険度）のランクが駒込6丁目、7丁目ともに高いと示されています。

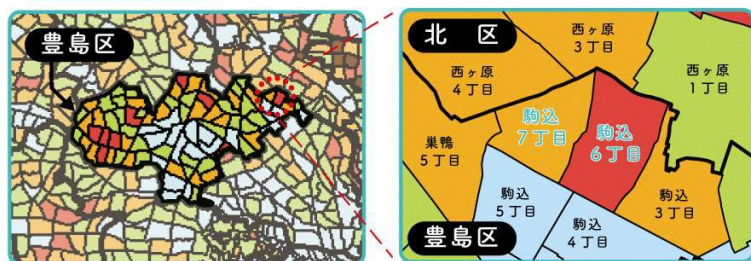
建物倒壊危険度



駒込6丁目 ランク3

駒込7丁目 ランク3

火災危険度



駒込6丁目 ランク4

駒込7丁目 ランク3

出典：地震に関する地域危険度測定調査（第9回）（令和4年9月公表）

地域危険度のランク

危険性が低い 危険性が高い



地域危険度のランクは5段階の相対評価としています。

都内5,192町丁目中、危険量の大きい町丁目から順位付けを行い、ランクを割り当てています。

総合危険度



駒込6丁目 ランク4

駒込7丁目 ランク4

駒込7丁目の火災危険度は下がったものの総合危険度は変わらずランク4のままなのね…



前回お知らせした地域危険度（測定調査第8回）

建物倒壊危険度



駒込地区 ランク3

火災危険度



駒込地区 ランク4

総合危険度



駒込地区 ランク4

平成30年2月公表の地震に関する地域危険度測定調査（第8回）から、駒込地区は駒込7丁目の火災危険度がランク3に下がりましたが、総合危険度は駒込6・7丁目共に変わらずランク4です。

出典：地震に関する地域危険度測定調査（第8回）（平成30年2月公表）